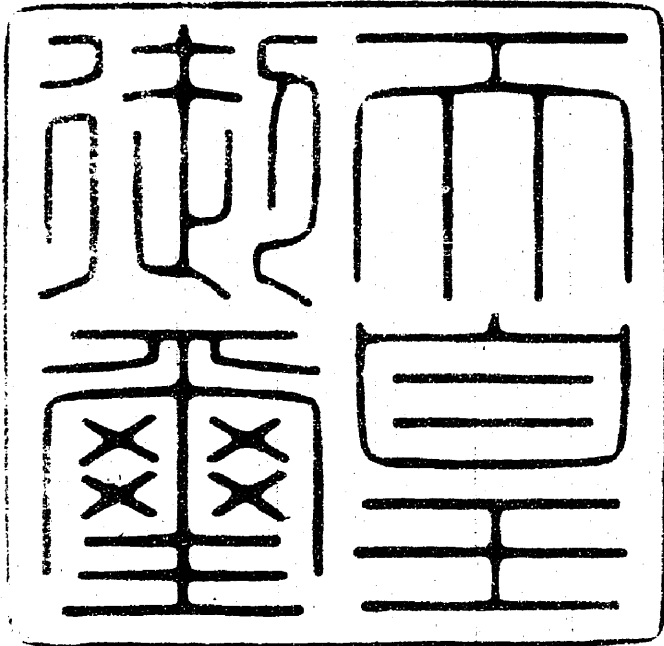


勅令第四百八十二號

朕關東州産業整備營團令ヲ裁可シ茲
ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和十九年七月二十五日

内閣總理大臣
大東亞大臣

小磯國昭
重光葵

勅令第 四百八十二號

關東州産業整備營團令

第一章 總則

第一條 關東州産業整備營團ハ大東亞戰爭ニ際シ關東州ニ於ケル
産業ノ整備ヲ圖ル爲メ産業設備（之ニ充ツベキ機械及器具ヲ含ム
以下同ジ）ニシテ未完成又ハ遊休ノ狀態ニ在ルモノ（以下未動
遊休設備ト稱ス）ノ活用ヲ圖リ及企業整備ニ關シ轉業又ハ廢業
ヲ爲ス際工業者等ノ資産及負債ノ整理ヲ行フト共ニ併ヒテ戰時
生活必需物資其ノ他ノ緊要物資（以下重要物資ト稱ス）ノ貯藏
ヲ確保シ及貯藏重要物資ノ利用ヲ有效且適切ナラシムルコトヲ目的トス
關東州産業整備營團ハ法人トス

第二條 關東州產業整備營團ハ主タル事務所ヲ大連市ニ置ク

關東州產業整備營團ハ必要ノ地ニ從タル事務所ヲ設置スルコトヲ得

第三條 關東州產業整備營團ノ資本金ハ百萬圓トス

政府ハ百萬圓ヲ關東州產業整備營團ニ出資スベシ

第四條 關東州產業整備營團ハ定款ヲ以テ左ノ事項ヲ規定スベシ

一 目的

二 名稱

三 事務所ノ所在地

四 役員ニ關スル事項

五 業務及其ノ執行ニ關スル事項

六 關東州產業整備債券ノ發行ニ關スル事項

七 會計ニ關スル事項

八 公告ノ方法

定款ハ滿洲國駐劄特命全權大使ノ認可ヲ受ケ之ヲ變更スルコトヲ得

第五條 關東州產業整備營團ハ大使ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非サレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第六條 關東州產業整備營團ニハ所得稅ヲ課セズ

關東州產業整備營團ノ事業又ハ第十七條第一項第一號若ハ第二號ノ業務ノ爲ニスル建物若ハ土地ノ取得ニ對シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ但シ關東州產業整備營團ノ事業ニ對シテハ特別

ノ事情ニ基キ大使ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 關東州産業整備營團ニ付解散ヲ必要トスル事由發生シタル場合ニ於テ其ノ處置ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

第八條 關東州産業整備營團ニ非ザル者ハ關東州産業整備營團又ハ之ニ類似スル名稱ヲ用フルコトヲ得ズ

第九條 關東州裁判事務取扱令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第四十四條、第五十條、第五十四條及第五十七條並ニ非訟事件手続法第三十五條第一項ノ規定ハ關東州産業整備營團ニ之ヲ準用ス

第二章 職員

第十條 關東州産業整備營團ニ役員トシテ理事長一人、理事二人以上及監事二人以上ヲ置ク

第十一條 理事長ハ關東州産業整備營團ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス
理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ關東州産業整備營團ヲ代表シ理事長ヲ輔佐シテ關東州産業整備營團ノ業務ヲ掌理ス
理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ理事長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

監事ハ關東州産業整備營團ノ業務ヲ監査ス

第十二條 理事長、理事及監事ハ大使之ヲ命ズ

理事長及理事ノ任期ハ三年、監事ノ任期ハ二年トス

第十三條 理事長及理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ從タル事務所ノ業務ニ關シ一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行為ヲ爲ス權限ヲ有スル代理人ヲ選任スルコトヲ得

第十四條 理事長及理事ハ他ノ職業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ關

東州廳長官ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條 關東州産業整備營團ニ評議員若干人ヲ置キ大使之ヲ命ズ
評議員ハ關東州産業整備營團ノ業務ニ關スル重要ナル事項ニ付
理事長ノ諮問ニ應ジ必要アルトキハ之ニ對シ意見ヲ述ブルコト
ヲ得

評議員ハ名譽職トシ其ノ任期ハ二年トス

第十六條 關東州産業整備營團ノ役員其ノ他ノ職員ハ之ヲ法令ニ
依リ公務ニ従事スル職員ト看做ス

第三章 業務

第十七條 關東州産業整備營團ハ左ノ業務ヲ行フ

- 一 未動遊休設備ノ買受、賣渡及保有並ニ其ノ活用ニ關スル斡旋
- 二 企業整備ニ關シ轉業又ハ廢業ヲ爲ス商工業者等ノ資産ノ買

受、賣渡及保有並ニ其ノ活用ニ關スル斡旋

三 前號ニ掲グル者ノ共助金資金ノ融通

四 大使ノ指定スル重要物資ノ買受、賣渡及保有

五 前各號ノ業務ニ附帶スル業務

關東州産業整備營團ハ大使ノ認可ヲ受ケ前項ニ掲グル業務以
外ノ業務ヲ行フコトヲ得

第十八條 關東州産業整備營團ハ大使ノ認可ヲ受ケ契約ニ依リ
人其ノ他ノ團體ヲシテ前條ニ規定スル業務ノ一部ヲ取扱ハシムルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ同項ノ法人其ノ他ノ團體ガ同項ノ業務ヲ行フ
場合ニ於テハ同項ノ法人其ノ他ノ團體ノ役員又ハ使用人ニシテ
同項ノ業務ニ従事スルモノハ之ヲ關東州産業整備營團ノ當該業
務ニ従事スル職員ト看做ス

第十九條 關東州産業整備管團ハ第十七條第一項第一號又ハ第二號ノ規定ニ依リ買受ケタル設備其ノ他ノ資産ノ代償ニ付テハ國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ政府ノ定ムル所ニ依ル

第二十條 關東州廳長官ハ關東州産業整備管團ガ第十七條第二項第二號又ハ第二號ノ規定ニ依リ設備其ノ他ノ資産ヲ買受ケタル場合ニ於テ之ヲ買渡シタル者ニ對シ其ノ代償トシテ受ケタル金錢又ハ國債證券ノ處分ニ關シ必要ナル指示ヲ爲スコトヲ得

第四章 關東州産業整備債券

第二十一條 關東州産業整備管團ハ拂込資本金額ノ十倍ヲ限り關東州産業整備債券ヲ發行スルコトヲ得

第二十二條 關東州産業整備債券ハ額面金額五十圓以上トシ無記名札附トス但シ無記名者又ハ所有者ノ請求ニ依リ記名ト爲スコトヲ得

關東州産業整備債券ハ割引ノ方法ヲ以テ之ヲ發行スルコトヲ得
第二十三條 關東州産業整備管團ハ關東州産業整備債券借換ノ爲メ一時第二十一條ノ制限ニ依ラズ關東州産業整備債券ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ關東州産業整備債券ヲ發行シタルトキハ發行後一月以内ニ其ノ發行額面金額ニ相當スル舊關東州産業整備債券ヲ償還スベシ

第二十四條 政府ハ關東州産業整備債券ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ヲ保證スルコトヲ得

第二十五條 關東州産業整備債券ハ賣出ノ方法ヲ以テ之ヲ發行ス
ルコトヲ得

第二十六條 關東州産業整備營團ニ於テ關東州産業整備債券ヲ發
行セントスルトキハ大使ノ認可ヲ受クベシ

第二十七條 關東州産業整備債券ノ消滅時効ハ元本ニ在リテ八十
五年、利息ニ在リテハ五年ヲ以テ完成ス

第二十八條 關東州産業整備債券ノ所有者ハ關東州産業整備營團
ノ財産ニ付他ノ債権者ニ先チテ自己ノ債券ノ換濟ヲ受クル權利ヲ
有ス

前項ノ規定ハ關東州裁判事務取扱令ニ於テ依ルコトヲ定メタル
民法ノ一般ノ先取特權ノ行使ヲ妨グルコトナシ

第二十九條 關東州所付稅令中國債以外ノ公債ニ關スル規定ハ關

東州産業整備債券ニ之ヲ準用ス

第三十條 本章ニ規定スルモノヲ除クノ外關東州産業整備債券ニ關シ必

要ナル事項ハ大使之ヲ定ム

第五章 會計

第三十一條 關東州産業整備營團ノ事業年度ハ毎年四月ヨリ翌年
三月迄トス

第三十二條 關東州産業整備營團ハ左ノ方法ニ依ルノ外業務上ノ
餘裕金ヲ運用スルコトヲ得ズ

一 國債、地方債又ハ大使ノ認可ヲ受ケタル有價證券ノ取得
ヲ爲スコト

二 銀行若ハ金融組合ヘノ預金又ハ郵便貯金ト爲スコト

第三十三條 關東州産業整備營團ハ每事業年度ノ初ニ於テ財産目
録、貸借對照表及損益計算書ヲ作成シ定款ト共ニ之ヲ各事務所

ニ備置クコトヲ要ス

第六章 監督及補助

第三十四條 關東州產業整備營團ハ第一次ニ於テ關東州廳長官之ヲ監督シ第二次ニ於テ大使之ヲ監督ス

第三十五條 關東州產業整備營團借入金ヲ爲サントスルトキハ關東州廳長官ノ認可ヲ受クベシ

第三十六條 關東州產業整備營團ハ大使ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ剩餘金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ズ

第三十七條 關東州產業整備營團ハ業務開始ノ際業務ノ方法ヲ定メ大使ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

關東州產業整備營團ハ每事業年度ノ初ニ於テ事業計畫ヲ定メ大

使ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第三十八條 大使又ハ關東州廳長官ハ關東州產業整備營團ニ對シ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ、検査ヲ爲シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十九條 大使ハ關東州產業整備營團監理官ヲ置キ關東州產業整備營團ノ業務ヲ監視セシム

關東州產業整備營團監理官ハ何時ニテモ關東州產業整備營團ノ業務及財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得

關東州產業整備營團監理官ハ何時ニテモ關東州產業整備營團ニ命ジ業務及財産ノ狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

關東州產業整備營團監理官ハ關東州產業整備營團ノ諸般ノ會議

ニ出席シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第四十條 役員ガ法令、定款、大使若ハ關東州廳長官ノ命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ大使ハ之ヲ解任スルコトヲ得

第四十一條 關東州產業整備營團ガ第十七條ニ規定スル業務ニ因リテ受ケタル損失ハ帝國議會ノ協賛ヲ經タル金額ヲ超エザル範圍内ニ於テ大使之ヲ補償スルコトヲ得

第七章 罰則

第四十二條 左ノ場合ニ於テハ關東州產業整備營團ノ理事長、理事又ハ監事チ千圓以下ノ過料ニ處ス

一 本令ニ依リ大使又ハ關東州廳長官ノ認可ヲ受クベキ場合ニ

於テ其ノ認可ヲ受ケサルトキ

二 第十七條ノ規定ニ依ラズシテ業務ヲ營ミタルトキ

三 第二十一條又ハ第二十三條第二項ノ規定ニ違反シ關東州產業整備債券ノ發行ヲ爲シ又ハ償還ヲ爲ササルトキ

四 第三十二條ノ規定ニ違反シ業務上ノ餘裕金ヲ運用シタルトキ

五 大使又ハ關東州廳長官ノ監督上ノ命令又ハ處分ニ違反シタルトキ

六 關東州產業整備營團監理官ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ其ノ命ズル報告ヲ爲ササルトキ

第四十三條 左ノ場合ニ於テハ關東州產業整備營團ノ理事長、理

事又ハ監事チ五百圓以下ノ過料ニ處ス

一 本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シ登記ヲ爲スコト
ヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

二 第三十三條ノ規定ニ違反シ書類ヲ備置カザルトキ又ハ其ノ
書類ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ若ハ不正ノ記載ヲ爲シタル
トキ

第四十四條 第八條ノ規定ニ違反シ關東州産業整備營團又ハ之ニ
類似スル名稱ヲ用ヒタル者ハ五百圓以下ノ過料ニ處ス

附 則

第四十五條 本令施行ノ期日ハ大使之ヲ定ム

第四十六條 大使ハ設立委員ヲ命ジ關東州産業整備營團ノ設立ニ

關スル事務ヲ處理セシム

第四十七條 設立委員ハ定款ヲ作成シ大使ノ認可ヲ受クベシ

第四十八條 定款ニ付大使ノ認可アリタルトキハ設立委員ハ遲滯
ナク出資ノ拂込ヲ稟請スベシ

第四十九條 出資ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク其ノ
事務ヲ關東州産業整備營團理事長ニ引繼グベシ

理事長前項ノ事務ノ引繼ヲ受ケタルトキハ設立ノ登記ヲ爲スベシ
關東州産業整備營團ハ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登
記ヲ爲スニ因リテ成立ス